

平成28年度生坂村消防委員会要旨

1. 日 時 平成29年1月20日 午前10時00分から
2. 場 所 生坂村役場 第3会議室
2. 出席者 牛越史博（消防委員長）、竹内一郎（消防委員）、竹内元己（消防委員）
荻久保幸男（消防委員）、中澤幸弘（消防委員）、吉澤弘迪（消防委員）
小山朗央（消防団長）、平田浩（消防副団長）、寺島慶次（消防副団長）
藤澤泰彦（村長）、牛越宏通（総務課長）、瀧澤和旦（消防主任）
3. 会長選任 会長 牛越史博、職務代理者 竹内一郎

4. 協議事項

- (1) 本年度事業内容並びに来年度事業計画について

説明事項

平成28年度の生坂村消防団の事業内容と、消防防災事業の地区の防災安心応援事業、気象観測装置整備事業、防災対策備品整備事業、宇留賀公民館耐震改修工事、消防詰所建替整備事業（小立野・大日向）の全5事業について説明し、続けて平成29年度の生坂村消防団事業計画について説明。

委員会からの質問意見

- Q. 宇留賀公民館の耐震改修工事及び消防詰所の建設工事はいつまでか。
- A. 宇留賀は2月末で竣工予定。消防詰所については3月20日竣工予定で、現在基礎の養生まで終わっている。
- Q. 消防の積載車の管理はどうしているのか。
- A. 小立野は楽笑会の倉庫、大日向は生活改善センターの自主防災倉庫横に毛布を掛けて管理をしている。
- Q. 現在村外に居住している消防団員は何名くらいか
- A. 正確な数字は把握していないが、数名いる。

- (2) 消防設備整備要望箇所について

説明事項

今年度予算で、漏水している大道上防火水槽と、消火栓3か所の修繕を行う予定。

また、来年度予算では耐震性のない日岐部詰所の建替えと、20年以上経過している積載車が4台あるため、来年度は下生坂の積載車を1台更新したい。残りの車両は30年度以降に順次更新を進めていきたい。

委員からの質問意見

Q. 古い積載車はすべて更新した方が良いのではないか。

A. 分団長会議で積載車よりも耐震性のある詰所の方が重要だと意見をいただいているため、詰所を優先的に建替え、積載車については予算を考え計画的に更新を行いたい。

Q. 各部の詰所の必要性はあるのか。

A. 分団の総会等はそれぞれ下生野、上生坂、下生坂の詰所で行っているが、各部の詰所は訓練や毎月の巡回、年末警戒で使用している。

Q. 下生坂の犀川ゲートは、有事の際に消防団が開閉を行うと聞いているが、手入れ等を行っているのか。

A. ゲートの維持管理は東京電力が行っている。有事の際は消防団が対応しているため、定期的に点検をして、開閉等に不具合があれば修繕要望を行っている。

Q. 新設の防火水槽は蓋つきであるが、ネットの防火水槽は今後蓋つきに更新するのか。

A. 各部やPTA等から危険個所や修繕の必要がある水槽については、蓋つきの防火水槽への更新や修繕を行っている。

Q. 消防団員の活動服は全団員に支給しているのか。

A. 寸法をして全団員へ支給している。また、ヘルメットと雨具、長靴についても併せて支給している。

Q. 防災倉庫にある古くなった法被等を一度点検したほうが良いのではないか。

A. 点検し傷んでいる物は処分したい。

Q. ポンプ操法の訓練を行うにあたり、現在はB&G駐車場やグラウンドを使用しているが、出来れば舗装がされている十分な敷地で行いたい。また、水利を確保できる場所が備わっていれば、より効率的な練習が行える。

A. 道の駅や防災拠点、橋の上や村道が訓練場所の候補に挙げられるが、道の駅や防災拠点はスペース的に厳しいと思われる。練習場所の確保については今後検討が必要である。